

※避難情報に関するガイドライン(内閣府:令和3年5月)を参考に作成。
※時間経過については想定で記載しており、実際の気象経過及び状況に応じた対応が必要である。

気象・水象情報

気象庁HP



洪水警報の危険度分布

- 72h ○台風進路予報
- 48h ○警報級の可能性(「高」・「中」)の情報
○台風説明会(下関地方気象台)
○台風に関する山口県気象情報(随時)
- 24h ◇大雨注意報、洪水注意報、強風注意報
水防団待機水位到達

注意

- ◇高潮注意報
- ◇大雨注意報、洪水注意報、強風注意報(警報に切り替える可能性に言及)
- 12h 氾濫注意水位到達

警戒

3時間先までに警報基準を超過

- ◇暴風警報、高潮警報
- ◇大雨警報、洪水警報
- ◇土砂災害警戒情報
- ホットライン(下関地方気象台)

非常に危険

3時間先までに警報基準を大きく超過

- ホットライン(下関地方気象台)
※洪水警報の危険度分布が「非常に危険」且つ大雨が継続する予想
- ◇記録的短時間大雨情報
- 3h 氾濫危険水位到達

極めて危険

すでに警報基準を大きく超過

- ホットライン(下関地方気象台長)
- ◇大雨特別警報
- ※台風上陸
- 0h 堤防天端水位到達・越流
- ◆〇〇川氾濫発生情報

宇部土木建築事務所

- 所内体制及び市町村との連絡体制の確保
- 工事現場等の安全管理
- 管理施設の巡視強化
- 道路交通への安全対策
- 水防に係る水位情報伝達体制の確認
- 重要水防箇所及び水門等の場所の確認

水防班配備

水防警報(準備)

通報

水防警報(出動)

通報

○ホットライン(宇部土木建築事務所長) → (市長)

○ホットライン(宇部土木建築事務所長) → (総務部長)

○ホットライン(宇部土木建築事務所長) → (市長)

○ホットライン(宇部土木建築事務所長) → (市長)

- 被害状況の把握
- 緊急対策工事等の実施

伝達

山陽小野田市

- 防災担当者間での情報共有
・防災体制の確認
・気象情報を踏まえたタイムラインの確認
- 消防団への情報提供
- 水防資機材の点検

警戒体制調整会議の設置

第一警戒体制

- 各対策部との情報共有・体制確認
- 注意喚起(防災メール・ラジオ等)
- 市内パトロール(水門・樋門などを操作)
- 気象情報、水位、雨量を常時確認

第二警戒体制

水防本部または災害対策本部設置

(防災担当)

(市長)

(総務部長)

消防団出動

【警戒レベル3】高齢者等避難

- 避難所開設準備
- 自主避難のための避難所を開設

- 消防団へ指示
- 広報活動の実施
- 要配慮者施設に注意喚起
- 避難指示の準備

【警戒レベル4】避難指示

※台風最接近および避難が必要な状況が、夜間・早朝が想定される場合は、**暗くなる前に避難指示**

- 消防団へ指示
- 広報活動の実施
- 要配慮者施設等への支援

【警戒レベル5】緊急安全確保

- 消防団待避命令(浸水区域外への避難誘導の指示)
- 必要に応じ自衛隊への派遣要請
- 避難者への支援

住民等

- テレビ、ラジオ、インターネット等による気象警報、大雨、河川状況等の確認
- ハザードマップ等による避難所・避難ルートの確認
- 非常用持ち出し品の確認

- 自主避難

- 携帯メール・防災ラジオ等による避難高齢者等避難の受信

要配慮者避難開始

- ※夜間・早朝の避難は危険であることから、**暗くなる前に避難開始**

- 携帯メール・防災ラジオ等による避難指示の受信

避難開始

避難完了

※気象・水象情報に関する発表等のタイミングについては、事象によって、異なります。